

## 教科主任会より

先日の教科主任会では、主に「家庭学習」についてと「教科会の様子」についての交流を行いました。

まずはじめに、「家庭学習」についての交流内容を紹介합니다。家庭学習については各種学力調査等の結果も踏まえ、「何をねらってどんな宿題を出しているか、出していか」について話していただきました。

### 家庭学習についての交流

- 国語**
  - 基本的には漢字の読み書きの基礎基本の定着のために、月・火・木は練習プリントを出し、金曜日の宿題のあかねこ（ワーク）で漢字のテストをしている。
  - 水曜日の「小社会」では、要約や自分の考えを書かせ、評価にも入れている。  
※テスト前にはワーク（知識・技能、思考・判断・表現）の宿題を出している。
- 社会**
  - 基礎基本の定着のために、金曜日に「重要用語テスト（20問）」を出している。月曜日に提出させ、答えを配付し、答え合わせをして火曜日に再提出させることで、2回重要用語に触れさせている。 ※思考問題はワークで。
- 数学**
  - 基礎基本の定着のために、授業の進度に合わせたプリントやリポート（ワーク）を出している。答えも付けて自分で答え合わせもして提出させている。
  - 章が終わる頃に、B問題（県作成単元テスト）等を使って思考を問う問題も出している。
- 理科**
  - 基礎基本の定着のために、授業でやっていることの復習としてワークやプリントを出している。
  - ワークの中には思考を問う問題もある。
- 英語**
  - 授業内容に合わせて、語句や表現の定着のためのプリントやワークの宿題を出している。
  - 4技能評価テスト（県作成）や事務所作成シート、授業内容と合わせた英語科作成の問題を思考問題として週末に出している。

\*引き続き、各教科で基礎基本の定着と思考力・判断力・表現力を伸ばすための宿題をお願いします。  
また、県や事務所作成シート等も計画的に活用していきましょう。

### 教科会についての交流

教科会の交流の中で印象的だったことは、**教科主任がよく教科メンバーの板書を見てくれている**ことです。また、空き時間等に授業をのぞいてくれていることです。きっと、先生方も他の先生方の板書を見ていないかと思ひます。他の先生方の板書を見ると、自分の授業で足りなかった部分が見えてきたり、その先生が行った授業の流れや内容がわかり、自分の授業の参考になったりしますね。

この交流の最後に、教科主任の先生方をお願いしたことは、引き続き、①単元構想の際には、**学習指導要領の解説を開くこと**、②単元や1時間の授業の最後には、**どんなことを言わせたい（書かせたい）か、具体的な姿、具体的な表現までを教科会で確認しておくこと**、そのためには、③「問題」「めあて」「まとめ」を検討することを確認しました。

## 教科会や授業の1コマ

### 国語科

前号の「主幹だより No. 3」では、齊藤先生のご講話から「**教科主任が教科会で確認・共有したいこと**」について紹介させていただきました。国語科の教科会ではこの交流が行われていました。

**教科主任**：「成長実感をどう感じさせるか、どうはかるか」、「できていること・できていないことの視覚化」が大切。

**教科メンバー**：

- ・「成長実感」という部分では、前任校で毎時間行っていた「振り返り」がそれにあたるのではないか。
- ・時間があれば、以前の学指との比較をしてみたい。今回の学習指導要領では国語に「情報」が入ってきた。そこには意図があり、比較することで指導のヒントが見えてくるのではないかと。

### 社会科

社会の教科会では、単元構想を行う際にはよくホワイトボードを活用しています。

この日は「**単元を貫く問い**」について、子供たちが他人事ではなく、**自分事として主体的に考えられる「問い」、単元終末に目指している姿に行き着くための「問い」**にするために何度も練り直しを行っていました。

また、単元で扱う内容についても、**どのような順番で行うことが、教師側が意図する見方・考え方の成長を促し、単元終末にねらっている姿になるのか**の検討もされました。

先日の1年社会の1コマ。「日本の領土の平和的解決」に向けて、「聞き手が納得するように根拠を示して説明する」ことが行われていました。

**本校の課題の1つである「根拠をもとに表現する」ことが意識されている授業**でした。



授業の最後には、「**そもそも…についてはどうなの？**」と生徒たちが考えていた説明では見方・考え方、根拠が不十分であることを示す揺さぶりの声掛けもありました。